



<私のイタリア語学習 AMARCORD>

今から約 25 年前、私が大学 1 年生のとき、初めてイタリア語を勉強するために使ったテキストは白水社の『Passo a passo』でした。A5 サイズ、約 80 ページの小さな本で、必要最小限のことを学びました。先生のお話がとても楽しく、全然関係のない友達を授業に連れていったことを思い出します。学年末に単位は取れましたが、数年後に自分の答案を見てみると、基本的な動詞の活用さえ覚えていなかったことが分かり、とても驚きました。それと同時に、先生にとっても感謝しました。泰然と広い心で、イタリアの豊饒なる世界に私を導き入れてくださったからです。

動詞の活用は、ある程度イタリア語に接していれば、いつの間にか覚えてしまうものです。sapere の活用 so, sai, sa などは、今では間違えたくても、間違えられません。そうすると、むしろ、so の古い形として saccio, sappo, sao があり、sai には sapi, sa には sape があるということの方が面白くなってきます。イタリアのテレビのクイズ番組では、ある動詞の遠過去を 4 択の問題にしています。司会者がうやうやしく問題を読み上げ、解答者が首をかき上げて時間を費やし、正解発表の前に CM が入ったかどうかまでは覚えていませんが……。要するに、馴染みのない活用はイタリア人も覚えていないということです。もちろん私も覚えていません。perdere の遠過去を聞かれたら、persi かな、perdei かな、それとも perdetti かな、と悩んでしまいます（実は 3 つとも正解）。

大学 2 年生のときに使ったテキストは、Guerra 社の黄色い表紙の『In italiano』でした。洋書なので日本語の解説はありませんし、イタリア人の先生の解説も少なく、授業は雲をつかむような感じだったと記憶しています。練習問題を先生に当てられると、頭の中が真っ白になっていました。とはいえ、先生の文化紹介は充実していて、知らず知らずのうちに私はイタリアに魅了されていたのでしょ。テキストを見返してみると、とても細かく単語を調べていました。特に食文化のページは丁寧に、例えばパスタの fusilli については、「fondere p.p. fuso → fusione 融解、鑄造、合併？」と書き込んでいます。納得できずに「？」を付けていますが、当時はこれ以上調べることができませんでした。今ではイタリア語の大辞典が手元に数種類あって、正しい語源は「紡績、つむ」を意味する fuso だと分かります。それに、「小さい」を意味する縮小辞 -ello の南部方言 -illo が付いているのです。また、ワインの Sagrantino di Montefalco については、「sagra 祭礼」、「falco 鷹、ハヤブサ」と書き込んでいます。固有名詞や地名の一部分だけを調べるなんて！しかし、その 10 年後の私は、ベノッツォ・ゴッツォリのフレスコ画を見にモンテファルコを訪れ、サ

グランティーノも味わって、イタリアの豊饒なる文化に浸っていたのでした。

大学 3 年生になると、イタリア文学を専攻したので、現代の日常的なイタリア語には、ほとんど触れないようになりました。ダンテ、ボッ



ウンブリア州のモンテファルコからの眺め

カッチョ、マンゾーニ、レオパルディ、ピランデッロ……。今でも読むのに苦勞する古典的な作品を、何とか読んでいたのでしょう。予習のために、よく徹夜をしました。イタリア人の先生の授業では、留学帰りの先輩方が積極的に発言して、議論していたのを思い出します。私は隅っこで聞いているだけで、ほとんど話せませんでした。当時、卒論のテーマとして読み込んでいたのは、ダンヌンツィオの 1889 年の小説『快樂 (Il Piacere)』でしたので、私が敬語を使って話すと、現代の標準的な lei ではなく、うっかり 19 世紀ローマ貴族の voi を使ってしまおうというような有様。

私がイタリア語をそれなりに話せるようになったのは、大学院生になって留学をしてからのことです。イタリア人は優しい人が多いので、少しでも私がイタリア語を喋ると、よく誉めてくれました。生きた会話の中で吸収した言葉は忘れないものです。マントヴァの友人には sbrisolona というお菓子を教えてもらいました。その名前は、「ボロボロに砕く」を意味する動詞 sbriciolare の北部訛りに由来します。また、ローマの友人には sgamare という怪しげな俗語を教えてもらいました。

「隠されているものを見抜く、犯行現場をおさえる」という意味で、おそらく語源はラテン語の exsquamare「殻を取り除く」です。そして、ヴェネツィアの友人は、私が「～のために何でもする」と伝えるために〈fare tutto per+～〉と言ったとき、さりげなく、正しくは〈fare di tutto per+～〉と直してくれました。この表現は実用イタリア語検定試験によく出るもので、見かけるたびに、その友人を思い出します。

イタリア語学習は結局、passo a passo「一步一步、少しずつ」進むしかないようですね。散歩のように、トレーニングのように、マラソンのように自分に合った方法で、進み続けましょう。

京都産業大学准教授 内田 健一

(事務局注: 題名の AMARCORD は、もともとフェリーニ監督の 1973 年の映画のタイトルで、io mi ricordo「私は思い出す」のローマ方言に由来します。現在は「ノスタルジックな回想」を意味する普通名詞として使われています)

<効率的な作文対策で見事に3級合格！>

イタリア語を学び始めたのは今から13年前の2005年、50歳を過ぎた頃のことです。英語以外の外国語を話せるようになりたいと思い出会ったのが、イタリア語でした。最初の3年は年に24回、1回1.5時間のレッスンとNHKラジオ講座『まいにちイタリア語(入門編)』を聞くことから始めました。それから5年後の2010年12月にイタリア短期留学を経験しました。今思えば何も分からず、ただイタリア語の中で暮らしてみたい、そうすればイタリア語が今よりずっとできるようになる……という幻想を抱いたのかもしれませんが。たった2週間の短期留学で、イタリア語は大きな進歩はありませんでしたが、それでも、家族と離れ、一人での最初のイタリア生活ということもあって、イタリアが一層好きになりました。

その後、東京オリンピック開催が決まり、ボランティアガイドなら正式なガイド資格が無くても参加できることを知りました。英語ではその資格は満たしてはいましたが、イタリア語を役立てたいと、必要要件のイタリア語検定3級にチャレンジしようと決め、その対策本やスマホ(リスニング練習)で勉強を始めました。けれども、思うような上達はありませんでした。そんなとき、A先生が日伊協会で3級の対策講座をなさると知り受講しました。そこで初めて自分の不得意な所、検定を受けるなら知っておくべきことなどが分かったように思います。

自分自身ではリスニングが不得意だと思っていたのですが、作文が弱点だということが分かりました。スペルミスが多く、不得意な所を客観的に見る事ができていなかったのでしょう。イラストを描写する3級の作文は、要求された時制を用いること、順序を決め、整然と述べ

ることが大切だと知り、使いこなせる単語を用いて正しい表現で時間内に書き切ることを教えていただきました。また、過去問を指定の時間内でやってみると、途中で迷ったり考えたりして、作文にたどり着くまでに時間がかかってしまいました。その結果、作文に費やす時間が短くなり、書き終わって見返す時間も、書き出す前に何をどう述べるか考える時間さえも足りません。問題集などは分野ごとになっていて、作文も時間を決めてやっていたのですが、実際の試験ではリスニング以外ではトータルで時間が与えられるので、自分で時間の割り振りができます。基本的な択一問題では迷わず即答することで作文に多くの時間を使えるようになると思います。

私はA先生の講座の後、再び短期留学をし、その翌年の3月に3級を初めて受験して、無事に合格をいただきました。しかし、やはり作文では余裕のない合格でした。イタリア語を始めて11年目、3級検定挑戦を決めて2年後のことでした。

2017年第44回3級合格 正子 Nonna



シエナの語学学校傍にて

<イタリア語で楽しいお喋り、を目指して……>

もう何十年も前のことになりますが、フィレンツェに留学中の友人を訪ねました。そこで連れて行ってもらったのが、森の中のディスコテカ。夕暮れから若者が集まってきて、東屋を囲んで踊ったり、お喋りしたり。イタリア人のイケメンくんがやって来て、私がアジア人だからか、「僕はタイで生まれたんだ！」と声をかけられたり。楽しむことが得意なイタリア人氣質が印象に残りました。それから十数年。子育てもひと段落した頃、TV番組のイタリア紀行を見ていたら、楽しい記憶が蘇ってきました。「自分の言葉でイタリア人とお喋りできたらいいのになあ」

その頃、実用イタリア語検定試験を知りました。イタリア語は過去にかじったものの、文法はあやふや。「この際、きちんと勉強してみようかしら」と4級をチャレンジ、5級は実力相当とみなして、2つの級を受けることにしました。準備には



毎回、受講が待ち遠しい!? 授業風景

『イタリア語検定4・5級突破(三修社)』を読み込み、過去問を繰り返し解きましたが、ヒアリングは苦手。問題の内容を覚えているうちは練習にならないので適度に時間をおき、忘れた頃に解き直しました。そして本番。4級はダメ元と開き直ったのが幸いしたのか、2つの級で合格しました。ところが喜びも束の間、4級合格ではスムーズに会話をするにはほど遠いのです。そこで日伊協会に通うことにしました。講座では、ときにはクイズを混じえ、またあるときはポップスを題材にして文法を学びます。講師は、忘れることが得意な私にも根気よく指導してくださいます。ところがその楽しさにかまけて、検定はおろか、気づけばただの“リピーター”になっていました。

そんな中、日伊協会で検定対策講座が始まりました。ここで心機一転、今は3級合格と「イタリア語で楽しいお喋り」を目指して受講しています。最近、会話にも少し慣れてきました。いつか、イタリア人の友だちができたなら、こう尋ねるつもりです。「あなたが生まれた国はひょっとしてタイ?」

2010年第31回4級、5級合格 F.M.さん

<新しい言葉を覚えよう!!>

日本では毎年数々の新語が誕生していますが、イタリアでも同じように日々、新しい言葉が生まれています。最近では、ドローンという言葉が一般的に使用されるようになりました。イタリアでは drone はドローネと発音し、男性扱いで、複数形は droni ドローネと変化します。動詞を伴って使用する場合は、pilotare un drone「ドローンを操縦する」のように使います。代表的な伊伊辞典 Zingarelli の 2018 年版からは、dronista「ドローン操縦者」という言葉も既に掲載されています。英語由来の単語を、自国で生まれた言葉のように取り入れるのは、イタリアの十八番ですね。

SNS 用語の普及も凄まじいスピードで広まっています。ご年配の方でも、「さっき、ラインにメッセージを送ったよ」などと日常的に使っている方は多いのではないのでしょうか。イタリア語学習者のみなさんは、イタリア語で SNS 用語を積極的に使いたいところですが、次々に新しい言葉が生まれ、そして、誕生する言葉が男性形なのか女性形なのかははっきりしないこともあって、言葉をどのように操っていいかわからないのではないのでしょうか。例えば、Facebook や Twitter (イタリア語ではトゥイッテルと発音します) は Zingarelli によると、男性形、無変化と記されています。しかし、中には女性形として使用している人も多く存在しているのも事実です。日本で多く普及しているラインは、イタリアではそれほど使用されていませんが、こちらは女性形として扱われているようです。これは、line のイタリア語にあたる linea が女性形のためだと考えられます。なお、イタリアでは、ラインと同じようなコミュニケーションツールとして、WhatsApp が好まれています。

Instagram も男性形として使用していることが多く見られますが、やはり女性形としても使用しているようで、日本と同じく、Insta と略して使う人も中にはいるようです。Instagram をアプリケーションとして用いる場合は、applicazione が女性形なので、女性形として使っているのかもしれませんが。ちなみにアプリにあたる言葉は、app で女性形の無変化扱い。Ho installato l'app.「私はアプリケーションをインストールした」のように使います。日本では、「インスタ映え」が 2017 年の流行語大賞に選ばれました。Instagram の派生語として、instagrammabile という言葉もネットでは見かけられます。これは「インスタグラムに投稿する価値のある」という意味の形容詞

です。英語では「instagenic」がまさに「インスタ映え」にあたりますが、イタリア語ではこれにあたる単語はまだないようです。ただ、telegenico「テレビ映えする」や fotogenico「写真映えする」といった形容詞が存在するので、instagenico というイタリア語が普及するのも時間の問題かもしれませんね！

イタリア語では本来、外来語は男性形扱いというルールがあります。しかし、email のように英語由来にもかかわらず、女性形で扱われる単語があります。これは英語の mail にあたるイタリア語が、女性形の posta になるためです。email が日常的に使われるようになったときには、男性形か女性形かで議論が沸き起こりましたが、今では女性形として扱われることで定着しています。SNS 以外の言葉も次々と新しい言葉が生まれています。サッカーの世界カップでは、録画映像を用いて審判の判定を補助するビデオ・アシスタント・レフリー (VAR) の導入が大きな話題となりました。イタリアではワールドカップよりも 1 年早くセリエ A に導入され、その際にも、email と同じようにこの VAR が、果たして男性形なのか、女性形なのか、ということも議論されています。男性形か女性形かまだ確立はされていないものの、3 分の 2 が男性形とみなして使用していることが、Accademia Crusca (イタリア語の純化を目標とするアカデミー) の調べで分かっています。まだ、依然として女性形として用いる人が多い理由は、VAR とほぼ同じ意味として扱われている、moviola が女性形だからのようです。

実用イタリア語検定では、各級のレベルの目安として、例えば、準 2 級では「日常的な範囲の会話やテレビ・ラジオの内容を聞き取り、(中略) 能力が要求される」と規定しています。このため、準 2 級以上の受験者の方々には、重要な時事用語も理解していることが求められます。テレビやニュースなどに目を配り、知らない単語が出てきたら、伊和辞典に掲載されていない単語でも、伊伊辞典やイタリア語の wikipedia を活用するなどして、語彙を増やす作業が必要となってきます。「そんな作業は面倒だなあ」とぼやく方もいるかもしれませんが、インターネット、さらには辞書さえもない時代に語学を学んだ先人たちに比べれば、面倒くさいなどとは決して言てられない作業です。

覚えておこう、時事・ネット用語

polarizzazione sociale [女] 社会的分極化
esternalizzazione [女] アウトソーシング
energia rinnovabile [女] 再生可能エネルギー
medicina rigenerativa [女] 再生医療
cibo transgenico [男] 遺伝子組み換え食品
ortoressia [女] オルトレキシア (体に良いと信じる物だけを食べてよ
うと執着すること) (*この単語は第 47 回 2 級の長文で出題され
ました)

chattare [動] チャットする (チャッターレと発音)
twittare [動] ツイートする
ritwittare [動] リツイートする
googlare [動] グーグルで検索する (グッグラレと発音)
instagrammare [動] インスタグラムに投稿する
taggare [動] タグ付けする
pubblicare [動] 投稿する、公表する
screeshottare [動] スクリーンショットする

検定ニュース

>>1級合格者は全国通訳案内士試験 筆記試験語学科目が免除されます！<<

>>2019年春季、第48回検定が“外務省後援”となりました<<

◇2018年秋季第47回試験志願者数報告

	札幌	仙台	新潟	東京	横浜	金沢	名古屋	京都	大阪	岡山	広島	福岡	宮崎	那覇	ローマ	ミラノ	計
1級	2/2	6/6	0/2	56/58	11/12	1/1	4/5	7/8	15/16	0	0	2/2	0/1	0	5/6	11/12	120/131
2級	4/4	2/2	1/1	137/148	30/34	1/1	14/15	19/21	41/46	1/1	2/2	6/8	0	1/1	1/1	12/12	272/297
準2級	3/3	6/6	1/1	100/120	20/22	1/1	12/13	22/25	28/32	4/4	1/1	9/12	1/1	0	3/4	8/8	219/253
3級	8/12	10/10	1/2	206/235	44/51	2/2	25/28	26/31	53/65	3/3	3/4	17/18	2/2	1/1	5/5	6/6	412/475
4級	12/15	16/20	4/4	231/276	55/61	7/8	24/31	31/36	65/73	5/6	7/8	35/36	2/2	6/7	3/3	8/10	511/596
5級	11/14	14/18	5/5	156/190	40/47	3/3	15/24	22/26	32/43	8/8	3/4	17/20	2/3	2/3	2/2	10/11	342/421
合計	40/50	54/62	12/15	886/1027	200/227	15/16	94/116	127/147	234/275	21/22	16/19	86/96	7/9	10/12	19/21	55/59	1876/2173

受験者数/志願者数

第47回検定でのアンケート結果です（より詳細はHPをご覧ください）

1. HPでご紹介しているeラーニングやコンビニ・プリントはご利用されていますか？

回答者数： 1,348名
 a. はい 461名 34.2%
 b. いいえ 887名 65.8%

2. (上のaと答えた方に) 現在、5年分のかかなり大量の問題を配布していますが、今後これ以上配布する本数を増やすべきでしょうか？（*近年の試験問題は販売権の都合により、配布できません）

回答者数： 744名
 a. 5年分もあれば十分だ 401名 53.9%
 b. 古いものも残して欲しい 343名 46.1%

3. 伊検は外務省の後援事業として認定され、また、1級合格者には全国通訳案内士試験の語学筆記試験が免除されることとなりました。これらはイタリア語を学習し、伊検を受験する上で励みになりますか？

回答者数： 1,335名
 a. 大変励みになる 592名 44.3%
 b. 多少は励みになる 505名 37.8%
 c. 関係ない 238名 17.8%

4. 東京オリンピックで、イタリア語を活用して協力できればいいな、と考えていらっしゃいますか。

回答者数： 1,341名
 a. はい 736名 54.9%
 b. 考えていない 592名 44.1%
 c. 既にボランティアに参加した 13名 1%

●事務局よりホームページ活用のお願い www.iken.gr.jp

イタリア語検定試験のお知らせだけでなく、イタリア関係の情報・学校・リンク集など情報を満載しております。過去の問題もeラーニング・システムで配信しておりますし、コンビニプリントで過去問も配布しています。また、情報交換の場として掲示板をご用意しています。ご活用いただければ幸いです。ご要望や受験・お仕事体験談等、メール (info@iken.gr.jp) でお寄せください。

<2019年の試験日程ご案内>

◆ 第48回 2019年3月3日(日)

◆ 第49回 2019年10月6日(日)

▶伊検公式 LINE スタンプ好評発売中◀

伊検ならぬ伊犬のイタリアン・グレイハウンド、Iken君と、その彼女のAliちゃんの楽しいスタンプでLINEの会話を楽しんでください！日本語もついています。



電子書籍版登場！『使えるイタリア語単語 3700』



実用イタリア語検定準2級まで完全対応のイタリア語単語集。掲載されている3700ワードはジャンル別に分類してあるので覚えやすく、各単語に検定での該当級が明記されているので検定対策に最適。全掲載フレーズ音声収録。無料音声ダウンロード付。Amazon、honto、楽天ブックス、紀伊国屋書店ウェブストアで発売中。
 発行・発売 ベレ出版
 佐藤徳和、北野美絵子ジュリア著